

2021年1月8日(金)

「持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会」の設立について

依然として続くコロナ禍において、人々がより安全で、より快適に活動できる未来を実現するために、下記の通り「持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会」を設立します。

本協議会は、混雑情報をはじめとした人流の粗密等のデータを、様々な手段で収集・分析し、マルチメディアによる社会への情報発信に取り組む、民間企業・研究期間を会員とする協議会です。会長は、坂村 健(INIAD東洋大学情報連携学部 学部長)が務め、AI技術をはじめとした、最先端ICT(情報通信技術)を駆使して事業を推進します。

本協議会では「NO三密プロジェクト」と称し、都内繁華街、商店、商業施設の混雑情報を独自に収集し、テレビ、データ放送、Webサイト、アプリなどによる情報発信を行う事業を行います。本事業を通じて、コロナ禍の中での、三密状況を回避しながらの市民生活への貢献を目指します。

記

- 【協議会名】 持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会
- 【設立総会】 日時 2021年1月12日(火)午後3時～
場所 東洋大学情報連携学部(INIAD)赤羽台キャンパス
- 【会 員】 日本マイクロソフト株式会社
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
凸版印刷株式会社
ミュージックセキュリティーズ株式会社
YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
株式会社きらぼし銀行
INIAD cHUB(東洋大学情報連携学 学術実業連携機構)
- 【会 長】 坂村 健(INIAD東洋大学情報連携学部 学部長)

※設立総会の取材を希望される場合は、事前に以下のメールアドレスにご一報ください。
オンラインでの取材も可能です。

本件に関するお問い合わせ

持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会事務局(担当：新堂)

Tel: 03-5437-2270

E-mail: ssd-office@ubin.jp

(次ページに続く)

<補足：NO三密プロジェクトについて>

【事業目的】

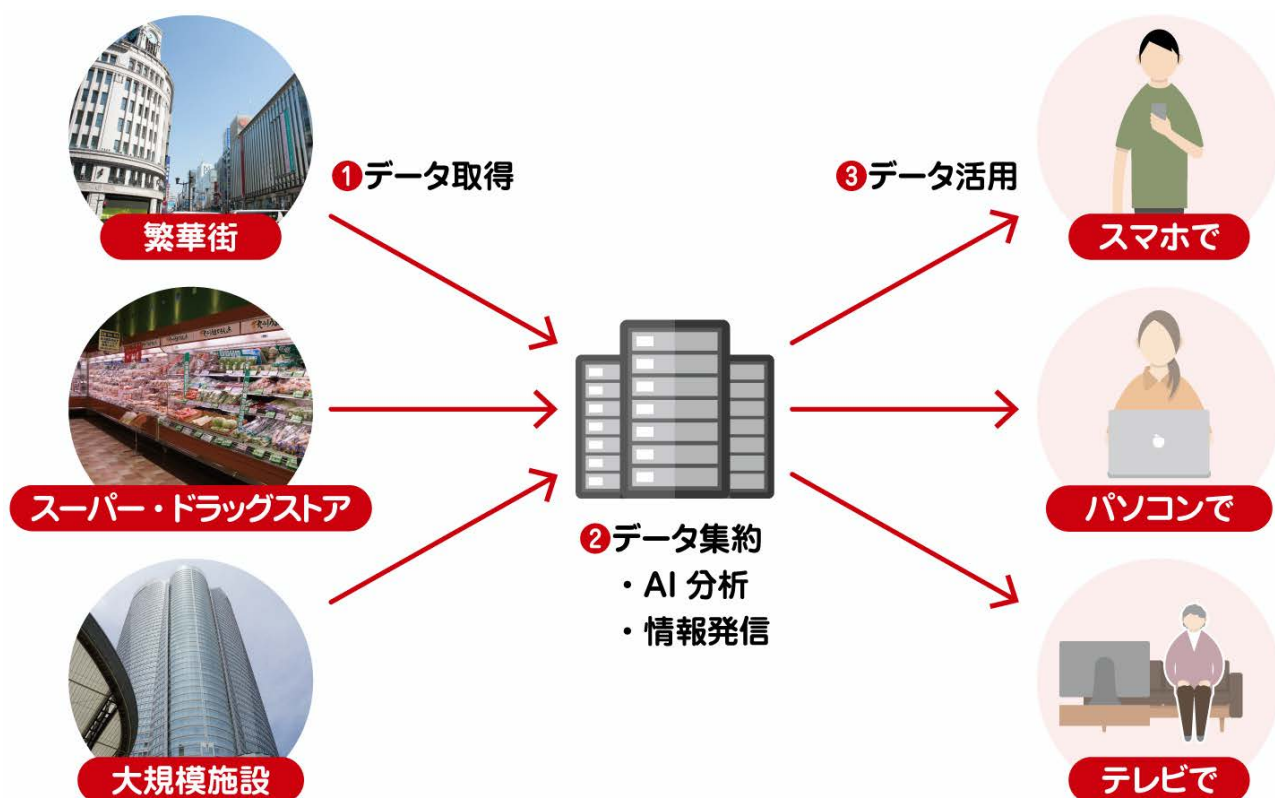
首都圏の様々な地点の混雑情報を独自にモニタリング・収集し、混雑推定技術の研究開発、メディアを通じた情報発信、参画企業・市民によるデータの二次活用を通じて、三密状況を回避しながらの市民生活に貢献します。

【事業内容】

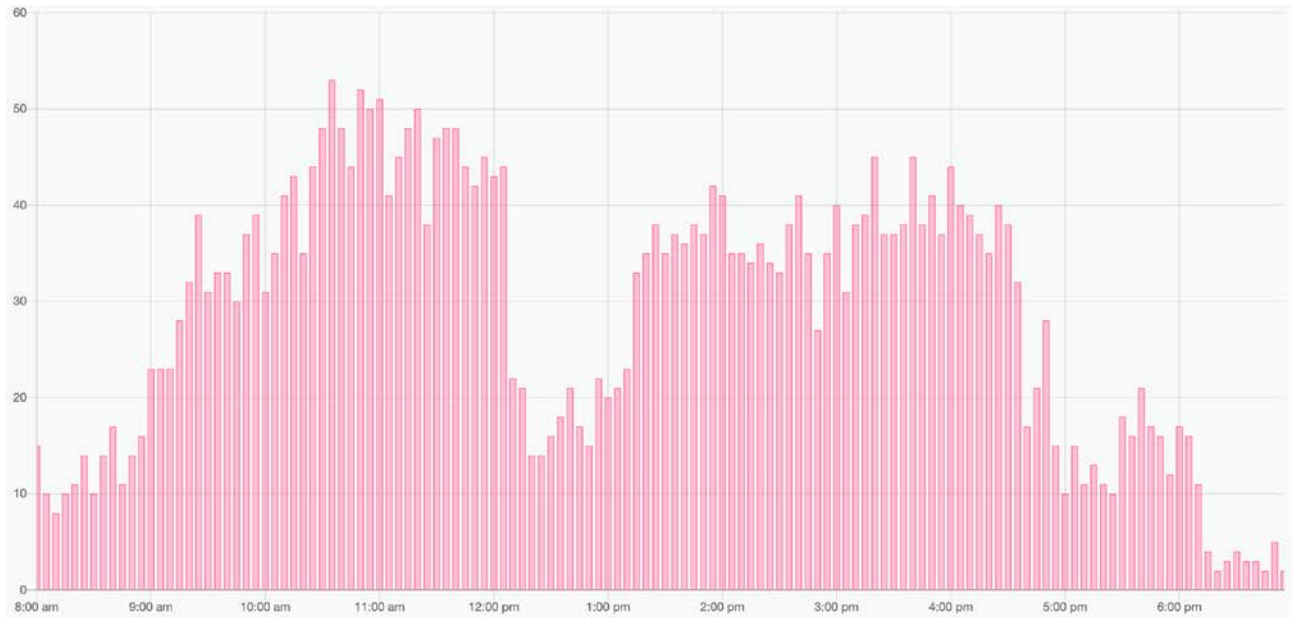
- ①様々な手段を組み合わせ、都内繁華街、商店、商業施設の混雑情報を独自に収集します。
重点地域(渋谷、新宿、銀座、六本木など)におけるCOCOA(新型コロナウイルス接触確認アプリ)のBluetooth Low Energyアダプタイズ、地域のスーパー等の協力店舗のPOSデータ等をもとに、リアルタイムな混雑情報を収集します。
- ②収集した混雑情報を、テレビ、データ放送、Webサイト、アプリなど、マルチメディアで発信します。
- ③AI技術をはじめとした最先端ICTを活用し、将来の混雑状況の予測を含む、混雑推定技術の研究開発に取り組みます。
- ④会員企業による混雑情報の利活用、さらにはオープンデータ化を通じて、三密状況回避への貢献を目指します。

【事業内容】

令和3年1月12日から同年3月31日を予定します。



事業イメージ図



混雑情報の収集例

（横軸は時間、縦軸はカンファレンス会場内のCOCOAのBLEアドバタイズ数。
会議開催中は混雑し、開始前後や、昼休みなどの休憩時間は混雑度が下がることが分かります。）

2020 TRON Symposium(2020年12月9日～11日、東京ミッドタウンホール)にて収集